

令和4年度学生表彰

1 日 時 令和5年3月15日（水）16時00分～

2 場 所 出光佐三記念六甲台講堂

3 被表彰者

＜学術研究活動＞

学生表彰規程第2条第1号イによる推薦
(国際的又は全国的規模の学会から賞を受けたもの)

No.	被表彰者				推薦者		
	団体名	氏名	研究科	学年	所属	氏名等	推薦理由
1		シノハラ イッセイ 篠原 一生	医学研究科 博士課程	3年	医学研究科	教授 黒田 良祐	肩関節の病態の解明や人工知能技術による診断に関する研究に従事し、日本肩関節学会高岸直人賞その他の受賞だけでなく、国内外の学会や国際学術誌において多数の発表を行い、3年間でファーストオーサーとして英語原著論文を10本執筆し、掲載されている。
2		フジワラ ミナコ 藤原 美菜子	工学研究科 博士課程 前期課程	1年	工学研究科	研究科長 小池 淳司	令和4年日本建築学会で優秀卒業論文賞を受賞。 約40年間、現物の所在が不明であった大正元年創刊の「世界建築 様式図解」を独力で見いだし、詳細を明らかにした点が高く評価された。
3		ヒロエ マモル 廣江 葵	海事科学研究科 博士課程 後期課程	令和 4年 3月 修了	海事科学研究科	教授 長松 隆	令和4年3月4日にヒューマンインターフェイス学会 論文賞を受賞するとともに若手卓越研究者賞も併せて受賞。

令和4年度学生表彰

＜学術研究活動＞

学生表彰規程第2条第1号口による推薦
(その他これらに準ずる学会等から高い評価を受けたもの)

No.	被表彰者				推薦者		
	団体名	氏名	研究科	学年	所属	氏名等	推薦理由
1		ワファ タリク ウカル Wafa Tariq Waqar	経営学研究科 博士課程 後期課程	3年	経営学研究科	研究科長 國部 克彦	Managerial and Decision Economics で出版された論文で Top Cited Article Award 2020-2021を令和4年5月に受賞。 また、第1著者としてBRQ Business Research Quarterly (web of scienceに所属するジャーナル)で以下の論文が出版された。 論文: Board size and acquisition outcome: The moderating role of home country formal institutional development.
2		リヤマ ヒロシ 曾山 弘敏	医学研究科 博士課程	令和4年9月修了	医学研究科	教授 鈴木 聰	細胞内シグナルであるHippo-TAZが「トリプルネガティブ乳癌」の発症・進展の鍵となるドライバー経路であることを明らかにし、米国科学アカデミー紀要誌(PNAS)の筆頭著者として掲載された。また、令和4年6月には、「基底細胞様乳癌モデル非ヒト哺乳動物」の名称で特許を出願した。
3		カニシ ノブト 中西 信人	医学研究科 博士課程	2年		教授 小谷 穣治	重症病態後の筋萎縮ならびに身体機能障害の機序解明に関する臨床研究を行っており、マウス敗血症モデルにて筋肉内に浸潤した好中球が筋萎縮を引き起こしているメカニズムを解析した。研究成果は免疫領域で権威のある医学雑誌(Frontiers in Immunology)に掲載された。

令和4年度学生表彰

＜課外活動＞

学生表彰規程第2条第2号イによる推薦
(国際的規模の競技会、公演会、展覧会等において優秀な成績を修め、又は高い評価を受けたもの)

(個人)

No.	被表彰者				推薦者		
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員		推薦理由
1	スケート部	ボイタツヤ 壺井 達也	国際人間科学部	2年	工学研究科 藤井 稔 教授		世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会（エストニア）3位、フィギュアスケートグランプリシリーズ第4戦イギリス大会5位、フィギュアスケートグランプリシリーズ第6戦フィンランド大会4位、全日本フィギュア選手権大会総合9位、西日本フィギュアスケート選手権大会優勝等の成績を修めた。

令和4年度学生表彰

〈課外活動〉

学生表彰規程第2条第2号口による推薦

(全国的又は地区的規模の競技会等において優秀な成績を修めたもの)

(個人)

No.	被表彰者				推薦者			
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員	推薦理由		
1	カヌー部	辻本 ヨウダイ 鹿本 耀大	経営学部	3年	農学研究科 實安 助教	隆興	令和4年度に開催された第12回全日本学生カヌースプリント新人選手権大会において優れた成績 (JC-1 200m 3位) を残した。	
2		ゆ なみ キ 宋 奈美季	文学部	4年			令和4年度に開催された第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会において優れた成績 (WK-2 200m 3位) を残した。	
3		クラシ ツホ 倉橋 志帆	海洋政策科学部	2年			令和4年度に開催された第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会において優れた成績 (WK-2 200m 3位) を残した。	
4		アサクラ ハルカ 朝倉 紀香	文学部	4年			令和4年度に開催された第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会において優れた成績 (WC-2 200m 2位) を残した。	
5		ハセガワ ハルカ 長谷川 風華	海洋政策科学部	2年			令和4年度に開催された第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会において優れた成績 (WC-2 200m 2位) を残した。	
6	少林寺拳法部	伊タ 岩田 あき	理学部	3年	経済学研究科	衣笠 智子 教授	令和3年12月に開催された第59回 少林寺拳法関西学生大会、単独演武段外の部で全35人中 2位という結果を収めた。	
7	洋弓部	伊サ 岩佐 永寿	経済学部	2年	経営学研究科	國部 克彦 教授	令和4年10月に開催された第77回国民体育大会アーチェリー成年男子の部において、個人4位入賞、団体4位入賞(兵庫県代表)という成績を収めた。	
8	男子ラクロス部	タカ 田中 優平	法学部	4年	工学研究科 栗山 尚子 准教授	前田 正登 教授	第32回関西学生ラクロスリーグ戦において、男子1部リーグベスト10プレーヤーに選出された。	
9		ヤマダ 山田 誉大	文学部	4年			第32回関西学生ラクロスリーグ戦において、男子1部リーグベスト10プレーヤーに選出された。	
10	女子ラクロス部	ナガハマ 洋子 長浜 実咲	経営学部	4年			第32回関西学生ラクロスリーグ戦において、女子1部リーグベスト10プレーヤーに選出された。	
11	陸上競技部	ヤマサ 山科 真之介	国際人間科学部	3年	人間発達環境学研究科	前田 正登 教授	令和4年10月に開催された 第77回国民体育大会 (いちごー会とちぎ国体) に出場し、300mで5位、400mハードルで8位となりいずれの種目も入賞を果たした。	

令和4年度学生表彰

＜課外活動＞

学生表彰規程第2条第2号口による推薦
(全国的又は地区的規模の競技会等において優秀な成績を修めたもの)

(団体)

No.	被表彰者 団体名	推薦者		
		顧問教員	推薦理由	
1	カヌー部	農学研究科 實安 隆興 助教		令和4年度に開催された第12回全日本学生カヌースプリント新人選手権大会において優れた成績（男子カナディアン部門 準優勝）を残した。
2	陸上競技部	人間発達環境学研究科 前田 正登 教授		令和4年10月に開催された2022関西学生陸上競技種目別大会の4×400mに 出場し3分10秒53の好タイムで優勝した。
3	軽音楽部	農学研究科 笛山 大輔 助教		軽音楽部JAZZに所属しているジャズビッグバンドのKOBE Mussoc Jazz Orchestraが、令和4年8月17-18日に開催された「ヤマノ・ビッグバン ド・ジャズ・コンテスト」にて第8位に入賞した。
4	漕艇部	人間発達環境学研究科 高田 義弘 准教授		公益社団法人日本ボート協会主催、令和4年度（第49回）全日本大学選手 権大会（2022年9月7日～11日 開催場所：埼玉県 戸田ボートコース） において、女子舵手つきフォアが3位入賞を果たした。神戸大学にとって 初のメダル獲得であった。

令和4年度学生表彰

＜課外活動＞

学生表彰規程第2条第2号ニによる推薦
(卒業年度に当たる者で、在学中の課外活動において特に顕著な功労があったもの)

No.	被表彰者				推薦者		
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員		推薦理由
1	応援団	フルタ リヰ 古田 徳幸	経済学部	4年	経済経営研究所	佐藤 隆広 助教	令和3年1月21日から令和4年12月17日の約2年間団長として応援団をまとめ、神戸大学に関わる応援活動に注力した。 令和3年度は、コロナ禍の厳しい状況が続く中、10月に応援団の中でチアリーダーを復活、また、前例に拘らず2回生・3回生からも希望者は入団させ、人材育成することで、団員確保に努めた。引退時は4回生2名、3回生5名、2回生5名、1回生1名と10年振りに1-4回生までが在籍となり、応援団の体制を整え、今後の応援活動の礎を築いた。 令和4年度は、まだコロナ禍で規制がある中ではあるが、幅広く、硬式野球部・アメリカンフットボール部・準硬式野球部・男子ラクロス部・ホッケー部・ボート部・女子タッチフットボール部、以上の体育会各クラブの応援を60試合にわたり行い、体育会の試合を通じて神戸大学を盛り上げる応援活動を行った。
2	硬式野球部	サイトウ ダイ 齋藤 大地	法学部	4年	経済学研究科	永合 位行 教授	走攻守に秀でた内野手として、令和4年度は、近畿学生野球連盟の秋季リーグ戦において、47打数15安打（打率0.319）、本塁打1、二塁打4、盗塁5（リーグトップ）、打点7（いずれもチームトップ）の好成績を収め、三塁手部門のベストナインに選出された。また、その活躍は、スポニチアネックスに掲載されており、本学の栄誉を高めることにも貢献した。

令和4年度学生表彰

＜課外活動＞

学生表彰規程第2条第4号による推薦

(公認課外活動団体以外で特に優れた業績、功績等があったと認められるもの)

No.	被表彰者				推薦者		推薦理由
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員		
1	オリエンテーリングクラブ	マツモト モエ 松本 萌恵	農学部	4年	農学研究科	東 若菜 助教	令和4年2月に開催された2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス競技部門において、女子選手権クラス3位入賞。 令和4年6月に開催された2021年度全日本オリエンテーリング選手権大会 スプリント競技部門において、女子選手権クラス3位入賞（学生優勝）。 令和4年6月に開催された世界オリエンテーリング選手権大会（デンマーク）、令和4年8月に開催されたFISU世界大学オリエンテーリング選手権大会（スイス）に出席。 令和4年11月に開催された2022年度日本学生オリエンテーリング選手権大会において、スプリント競技部門 女子選手権クラス4位入賞、ロング・ディスタンス競技部門 女子選手権クラス4位入賞。
2		フジサワ 藤澤 ゆい	農学部	2年			令和4年10月に開催された2022年度 全日本オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門 女子選手権クラス（20歳以下の部）5位入賞。

令和4年度学外功労者に対する感謝状の贈呈

感謝状贈呈要項第2条第1項第1号による推薦
(課外活動団体の監督、師範、コーチとして永年にわたって献身的に指導した者)

No.	被表彰者				推薦者		
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員	推薦理由	
1	硬式野球部 監督	カイ アキラ 中井 明則 氏			経済学研究科 永合 教授	位行	<p>中井氏は、本学在学時に硬式野球部に所属し、卒業（平成6年経営学部卒）後は、OBとして硬式野球部に多大なる支援を行ってきた。</p> <p>平成24年10月から1年間はコーチを、平成25年10月から令和4年10月までの9年間は監督を務められ、本学硬式野球部の発展に尽力された。</p> <p>また、近畿学生野球連盟の監督理事も務められ、連盟全体の運営にも貢献された。監督ならびにコーチとして部員の指導に当たられた10年間は、無報酬で、近畿学生野球連盟のリーグ戦等の公式試合はもちろんのこと、練習試合にも欠かさず参加されただけでなく、日々の練習にも週3～4回は参加し、コーチおよび選手を熱心に指導してこられた。</p> <p>こうした指導が実り、令和3年の近畿学生野球連盟の秋季リーグ戦で35年ぶりの優勝を達成された。</p> <p>この優勝は、スポーツ紙だけでなく、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞において、国立大学の硬式野球部が私学強豪に勝って優勝したことで大きく取り上げられ、本学の栄誉を高めた。</p> <p>中井氏は、令和4年10月に監督を退任されたが、長年にわたって本学硬式野球部での部員の指導ならびに本学の栄誉への多大なる貢献をされてきたことから、学外功労者として推薦するものである。</p>

前ページから続く

感謝状贈呈要項第2条第1項第1号による推薦

(課外活動団体の監督、師範、コーチとして永年にわたって献身的に指導した者)

No.	被表彰者				推薦者	
	団体名	氏名	学部	学年	顧問教員	推薦理由
2	漕艇部 監督	佐藤 洋平 氏			人間発達環境学研究科 高田 義弘 准教授	<p>佐藤氏は、平成23年から漕艇部コーチとなり、競技技術だけでなく、部活動全体の運営面に対して体系的な組織を構築し、安定した部活動運営の基盤を築いた。</p> <p>また、平成28年からは監督に就任し、艇庫合宿所建て替え工事による仮移転期間や新型コロナ感染拡大による活動制限など、部活動の継続そのものが危ぶまれる中を卓越した組織運営と学生に寄り添う熱意で信頼を得ながら現在まで監督という役職を務めている。</p> <p>特筆すべきは、自然の中で行う水上競技である漕艇部において徹底した安全対策を実施して大きな事故がなく安全に活動を継続していることである。</p> <p>このような献身的な活動への敬意と共に、全国大学選手権大会において女子舵手付きフォアにて、オリンピック強化選手を擁する強豪大学と伍して、漕艇部史上初となる3位となり、メダルを獲得したことから学外功労者として推薦する。</p>
3	漕艇部 コーチ	池田 竜雄 氏			人間発達環境学研究科 高田 義弘 准教授	<p>池田氏は、中央大学漕艇部OBであり、学生時代には全国大会での優勝、また社会人でも強豪トヨタ自動車にて競技を続け、日本代表としてアジア大会や世界選手権にも出場したトップアスリートという経歴を持つ。</p> <p>その池田氏が平成25年から神戸大学漕艇部のコーチとなり、大学から競技を始めることが大半の初心者部員を一から指導し、関西はもちろんのこと、全国レベルで戦えるチームを育ててきた。</p> <p>池田氏の指導にて特筆すべきは、競技レベルの強化にとどまらず学生スポーツを通して得ることのできる人間性や人のつながりと言った、生涯にわたる大きな財産を作り上げていることである。</p> <p>また、ご家族の理解を得ながら岡山から大阪まで足を運び続けていることは感謝してもしきれない。</p> <p>このような献身的な活動への敬意と共に、全国大学選手権大会において女子舵手付きフォアにて、オリンピック強化選手を擁する強豪大学と伍して、漕艇部史上初となる3位となり、メダルを獲得したことから学外功労者として推薦する。</p>